

書道Ⅱのレポートでは、Ⅰのレポート同様知識を問う問題もありますが、鑑賞と硬筆（鉛筆書き）にも重点をおいています。

知識を問う問題では、教科書に答えが載っていますので、基本的には全て正解して合格です。落ち着いて探してください。鑑賞の問題では、教科書に載っていることを写すだけでなく自分の考えを書いてください。硬筆の問題では、お手本通りに書いてもらっても良いですが、自分の字で丁寧に正しく書かれていれば合格です。きれいに書くことを心がけてください。

最後の感想も忘れず書いてください。

第一回レポート	問二 ③ じっくり鑑賞して、自分の考えを述べましょう。 ④ この問題はクイズです。文字を見て浮かんだ答えを記入してください。全問正解でなくてもかまいません。 問三、四 書き取りの問題は丁寧に書くように心がけてください。 問四は楷書・行書どちらで書いてもかまいません。
第二回レポート	問一 ② それぞれの古典をよく見比べて感じたことを書きます。ネットなどで答えを探すのではなく、自分の思いを書いてください。 問二 自分が興味を持ったコラムについて述べてください。 自分の体験に基づく記述や、コラムを基に深く調べて記述してあれば高評価です。 問三 漢字かな交じりの書の鑑賞です。 「空」をテーマに書かれた作品であることを踏まえて、言葉の意味と書かれた文字の関係性についても考えてみましょう。 問四 行書の書き取りです。行書の書き方をしっかり確認して書きましょう。
第三回レポート	問一 ① だらだらと全部写さず教科書をうまくまとめましょう。 ② ㊦P30・31を見て図の古典が何か、まず探してください。その後、その4つを古い順に並べ替えてください。 問二 ① この問題は教科書に答えが載っていません。よく考えて思ったことを書きましょう。 ② レポートの画像は不鮮明です。正確に解答するためにも教科書を見ましょう。 ③ 教科書の古典の特徴を写すだけでは不十分です。自分の考えを述べましょう。

第四回レポート	問一 ② 唐時代の楷書と比較して述べる問題ですが、唐時代の楷書について述べてはいけません。 問二 自由提出課題です。このレポートの【主】の評価になります。 書道Ⅰでは身の回りにある書として、商品ロゴなどに使われている書を探してもらいましたが、書道Ⅱでは「書画作品」そのものを探してもらいたいと思います。（ここでいう「画」とは水墨画などの書と関係の深い絵画）書道Ⅰとは違い、写真提出はありませんので、見つけた状況を詳しく記述してください。また、偶然掛け軸などを街中で見かけることもあると思いますので、レポート合格後の追加提出も受け付けます。ただし、こちらはGoogle クラスルームの提出箱での受け付けのみとなります。（ちなみに私は TV ドラマで部屋の装飾として書の額や軸が掛かっているのをよく見ます） 問三 ② 見栄えよくというのは、単に丁寧に書くというだけではありません。上手に行を使って書いてください。 問四 いつもと違うところに感想を書く問題があります。忘れないようにしましょう。
第五回レポート	問一 ③ 教科書の「仮名一覧表」のそれぞれの先頭の文字が平仮名、二文字目以降が変体仮名です。平仮名ばかりで書いた名前と変体仮名ばかりで書いた名前を書くのではなく、平仮名と変体仮名を適度に交ぜたものを二種類書いてください。 ④ ③のうち好きな方を連綿させます。連綿とは、二文字以上を続けて書くことで、全ての文字を続ける必要はありません。無理なく続けられるところを探しましょう。 ⑤ ページの右上に釈文（読み方）が書かれていますので、見てください。「/」は改行の位置を表しています。 問二 封筒書きの練習です。レポート表紙裏に参考資料がありますので見てください。表書きは大きめ、裏書きは小さめに、それぞれ住所は小さく名前は大きく書いてください。また、裏の綴じ目も忘れずに。今回は、個人宅に出すのではなく学校に出す設定ですので、それも考えて記入してください。

問二 作品制作です。作品はレポートに添付して提出してください。添付できない作品は、直接持ってきてください。書道Ⅰでは、漢字仮名交じりの書の作品制作をしましたが、Ⅱではジャンルは問いません。臨書ではなく創作をしてもらいます。レポートの文章をしっかりと読んで完成させてください。わからないことがあれば、聞きに来てください。

- ⑥ 出典とは、引用文の出所のことです。誰が言った言葉か、何という本に載っていたか、などです。
- ⑦ 文字数の少ない作品の場合、落款を書かず落款印を押すだけの方が、収まりが良いことがあります。押印したい人は、空き時間に篆刻（印作り）の指導もしますので、相談してください。また、簡単に消しゴムで作ってもかまいません。（印とは銀行などで使用する姓のみの丸いものではありません。）「松高通信」の消しゴムはんこを用意してありますので、よかったら使ってください。
- ④を元に作品制作をしてください。

作品制作はとても難しいと思いますが、部屋に飾れるような思い出に残る作品ができるといいですね。

一年間お疲れさまでした。

また、書道Ⅰから続けて学習した人は二年間お疲れさまでした

最後の作品が書道の学習をした思い出の品になることを願います。